

## 様式第五十の二（第48条第6項関係）

### 認定事業適応計画の実施状況の概要の公表

#### 1. 認定の日付

2022年7月28日（2023年10月10日 変更認定）

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

レンゴー株式会社

#### 3. 認定事業適応計画の実施期間

2022年7月～2024年3月

#### 4. 認定事業適応計画の実施状況

##### （1）事業適応計画に係る事業の目標達成状況

多様化する環境問題に対する企業の取組みの重要性がますます高まっていることを背景に、

##### ●レンゴーグループ環境アクション 2050

「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることに挑戦する。」長期目標を策定している。

##### ●エコチャレンジ 2030

グループ全体で取り組む、2030年度を達成年度とする「エコチャレンジ 2030」における脱炭素社会の形成においては、温室効果ガス排出削減目標を2013年度比46%に定め、目標達成に向け取組みを進めていく。

この事業適応計画において、2023年度は高効率ガスエンジン発電設備の導入（利根川事業所）、2号復水タービンローター導入（利根川事業所）、4号抄紙機改造（利根川事業所）、7号抄紙機改造（八潮工場）、コルゲータ更新（愛媛東温工場）、ボイラ更新（愛媛東温工場）、太陽光発電設備の導入（愛媛東温工場）を実施し、炭素生産性の改善を図った。

##### （2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2023年度は価格改定を行った影響で増収増益決算となり、付加価値額の算定において大きなプラス要因となった。

事業適応計画の設備投資は計画通りに実施し2023年度の会社全体の炭素生産性は基準年度と比較し20.5%向上した。

##### （3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2023年度の経常収支比率は109.5%となり、経常収入が経常支出を上回った。

(4) 実施した事業適応計画の内容及び適用を受けた支援措置の内容

2023 年度は、4. 計画通り認定事業適応計画の実施状況（1）事業適応計画に係る事業の目標達成状況に記載している 7 件の設備投資を実施した。

また、同設備についてはカーボンニュートラル投資促進税制（税額控除率 10%）の適用を受けた。